

ブレインストーミングの運営方法

ブレストの進め方 1. 準備 2. 運営 3. 獲得 4. やり方の変更 5. 次の一手

1. 準備

- 最適人数=3~6人。超える場合は割る。後にアイデアを統合。
- ホワイトボードとマーカーを確保。無ければ、模造紙。
- 課題持ち込み者とテーマ調整の作業。会議時間と同じ時間だけ。

2. 運営

- ルールは目安。判断遅延（批判禁止の原義）1つだけでもOK。
- 課題を説明。発想時間を決める。収束の5分も含め終了時刻を設定。
- 多様性が乏しい時、観点を変える視点を提示（6観点リスト、発想トリガー各種）
- 机は不要。ボードにむけ半円型に椅子を。サイズを小さく。

3. 獲得

- 発言の通り書く。書記は言い換えをしない。長い場合は発言者に要約を求む。
- 発言の際に自分で書く方式も良い。渋滞しないようボードを2面。
- 終わったら5分、上位の可視化ワーク。皆で☆を書き、上位20%が会議成果。

4. やり方の変更)

- 発言苦手なメンバーが多いならば、BWやCBSに。
BW:ブレイン・ライティング（シートを使い発言不要）
CBS:フリップボードに書いて発言するスタイルのブレインストーミング

5. 次の一手)

- 二度目のブレストや検証作業の人員確保し、終了。（確・遅・少より 仮・早・多）

こんな感じでやります。協力者（3, 4名）と実演してみます。